

第 8 章

電気・ガス・上下水道

第 8 章 電気・ガス・上下水道

電気

平成 18 年度における電灯需要の契約口数をみると、501 万 5404 口にのぼり、前年度の 495 万 6888 口に比べ 1.2%(5 万 8516 口)の増加となった。その内訳をみると、従量制が 430 万 7619 口(前年度比 1.2%増)となっている。また、使用電力量は 2021 万 3636MWh で、前年度に比べ 1.1%の減少となり、1 口当たりの年間使用量は 4030kWh(前年度比 2.2%減)となった。

一方、電力需要についてみると、契約口数は 44 万 6401 口で、前年度に比べ 1.5%の減少となった。使用電力量は 27 億 8302 万 6 千 kWh となっている。

ガス

平成 18 年度中の大阪ガス株式会社における都市ガスの生産量は 61 億 2287 万 m³ で、前年度の 60 億 6152 万 m³ に比べ 1.0%の増加となった。

また、消費量は 43 億 2127 万 m³ で、前年度に比べ 0.7%の増加となった。これを内訳でみると、工業用が 21 億 1762 万 m³ で、前年度に比べ 3.8%の増加となり、商業用が 6 億 771 万 m³ で、前年度に比べ 4.1%の減少、公用が 1 億 7103 万 m³ で、前年度に比べ 5.4%の減少、医療用が 1 億 6914 万 m³ で、前年度に比べ 1.5%の増加となり、家庭用が 12 億 5576 万 m³ で、前年度に比べ 1.2%の減少となっている。

なお、大阪府内の需要家の総数は 385 万 9064 戸で、前年度に比べ 0.8%の増加となっている。

上下水道

・ 上水道 平成 18 年度における上水道の総給水量をみると、年間給水量は 12 億 3285 万 m³ で、前年度に比べ 1.9%の減少となっている。これを地域別にみると、大阪市地域が 4 億 6798 万 m³ で、全体の 38.0%を占めている。

栓数は 316 万 2264 件で、前年度に比べ 1.1%の増加となっている。

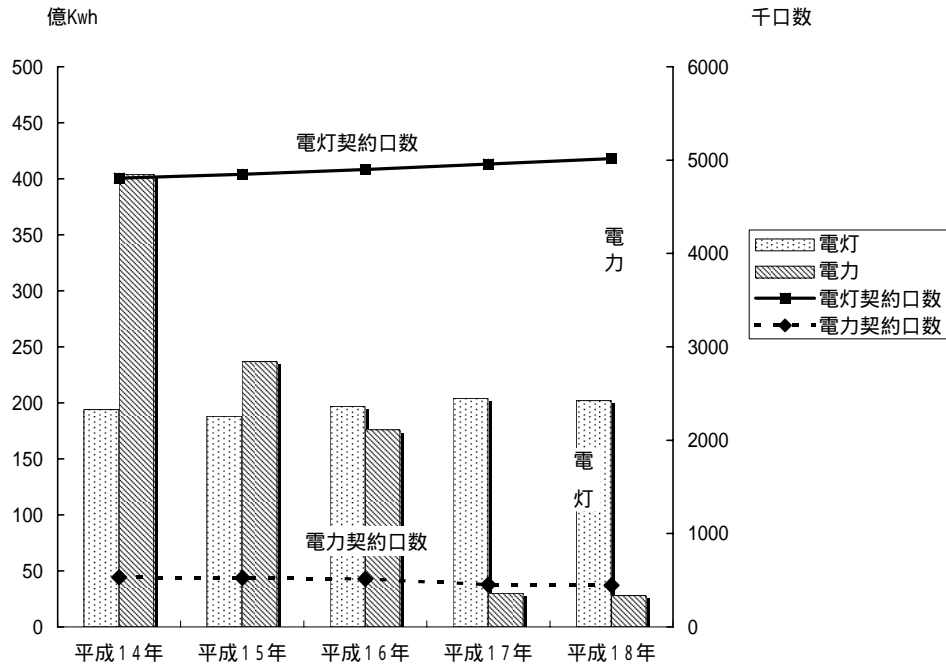
また、1 人 1 日平均給水量は 344 で、前年度に比べ 0.9%の減少となっている。これを市町村別にみると、1 位が大阪市の 486 で、以下、泉佐野市の 435 、岬町の 399 の順となっている。

工業用水の使用状況をみると、1 日当たりの総使用量は、前年比 0.04%増の 584 万 2272m³ となっている。

このうち、淡水の使用量は 527 万 1978m³ で、前年に比べ 0.04%の増加となっており、全体の 99.96%を占めている。これを水源別(淡水)にみると、回収水が大半の 86.9%を占めており、その内訳は、石油・石炭が 37.1%、化学が 28.8%、鉄鋼が 23.2%と、この 3 業種で回収水全体の 8 割以上を占めている。

・ 下水道 府内における平成 18 年度末の下水道の普及率をみると、整備人口が 92.1%で、前年度より 1.3 ポイントの上昇となっている。このうち、大阪市地域は 100%で、全域に普及している。

使用電力量・契約口数の推移



地域別都市ガス消費量の構成比 (平成18年度)

